

暖流コース 1H

PAR 4 HDCP 6

BT 410 RT 385 FT 360 LT 325

コース戦略

ほぼストレートでさほど距離も長くないが、第1打目を左サイドのバンカーに入れないように気をつける。グリーンは手前から奥へ受けており、ピンより手前を狙うことをお勧めする。グリーン周りのバンカーに入れると難易度が増すので、手前からアプローチした方が攻略しやすい。

グリーン

左手前から右奥に向かっての受けグリーン。カップより右や奥からのパッティングは下りになるので注意する。



暖流コース 2H

PAR 3 HDCP 8

BT 220 RT 190 FT 160 LT 135

コース戦略

打ち下ろしのショートホール。グリーンに大きなアンジョレーションはないが、縦幅が40ヤード以上あり、ピンポジションによって使用クラブが大きく変わってくる。打ち下ろしのロケーションで風の読みが重要となるが、1番ホールのピンフラッグを参考にジャッジしてもらいたい。

グリーン

縦幅42ヤードの大きなグリーン。ロングパッドでも大きくは曲がらないが、ショートパッドの傾斜が読みづらい。



暖流コース 3H

PAR 5 HDCP 2

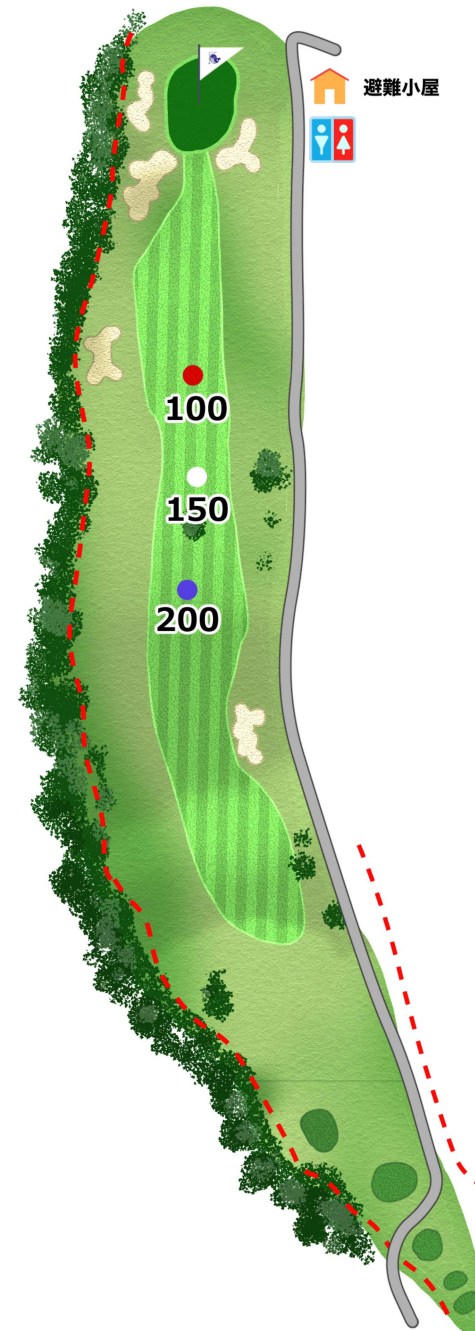
BT 555 RT 510 FT 470 LT 440

コース戦略

かるい右ドッグレッグのロングホール。ロングヒッターは第一打目を右サイドのバンカー越えを狙わないと次打が大きな木が邪魔になり狙いづらい。100ヤード地点からも見た目以上に打ち上げがあり、ピンポジションが手前の時は番手を上げたクラブで打つことをお勧めする。

グリーン

左手前から右奥にかけて尾根があり、ピンサイドの面にボールを止めたい。



暖流コース 4 H

PAR 4 HDCP 1

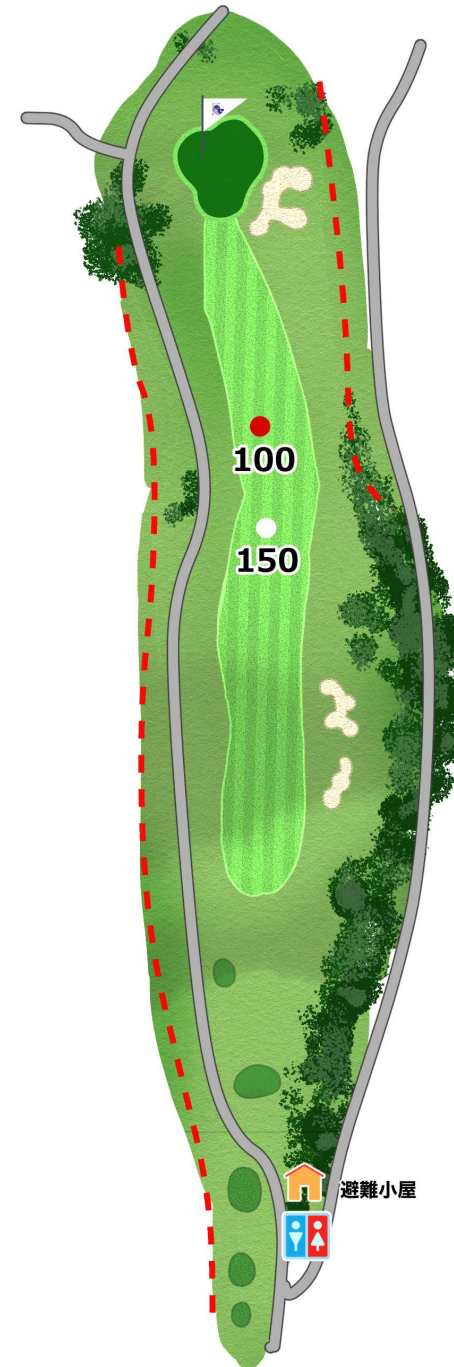
BT 470 RT 420 FT 375 LT 335

コース戦略

ティーグラウンドからの見通しがよく、フルスイングできるホール。距離が長く2打目も打ち上げになるので無理にパーオンを狙うと大叩きに繋がりがねない。手前からアプローチでもいいくらいの気持ちで挑んでもらいたい。

グリーン

左半分はほぼフラット、右半分は右から左へ少し傾斜がある。奥にこぼすと見た目以上に下っていくので注意。



暖流コース 5 H

PAR 4 HDCP 3

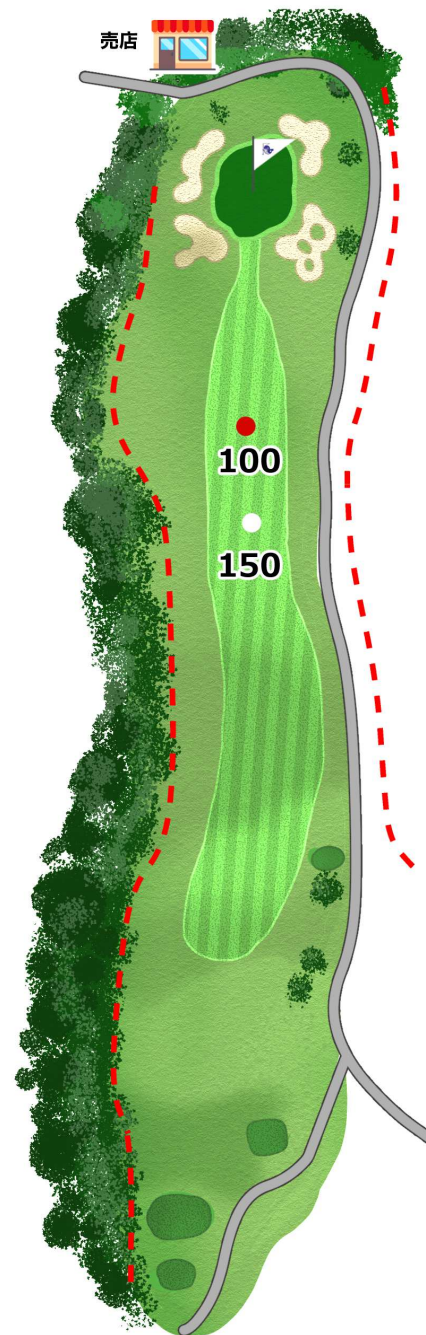
BT 435 RT 405 FT 360 LT 260

コース戦略

バックティー、レギュラーティーからは左山裾狙いがベスト。ロングヒッターは右ラフ方向に打つと、突き抜けてOBになる可能性がある。グリーンは受けているのでボールは止めやすい。

グリーン

左奥と右奥にマウンドがあり、奥からのアプローチは難しい。ピン位置がどこにあってもセンターに乗せると攻略しやすい。



暖流コース 6 H

PAR 3 HDCP 9

BT 190 RT 165 FT 140 LT 125

コース戦略

距離が短く、一息つけそうなショートホールだが、グリーンが砲台になっていて、乗らなかった場合はアプローチの技術が試される。グリーン左のグラスバンカーに入れるとさらに難易度が増す。

グリーン

グリーンセンター付近に左サイドから右サイドまで窪みがあり、プレーラインにかかると距離感やラインを合わせづらい。



暖流コース 7H

PAR 4 HDCP 7

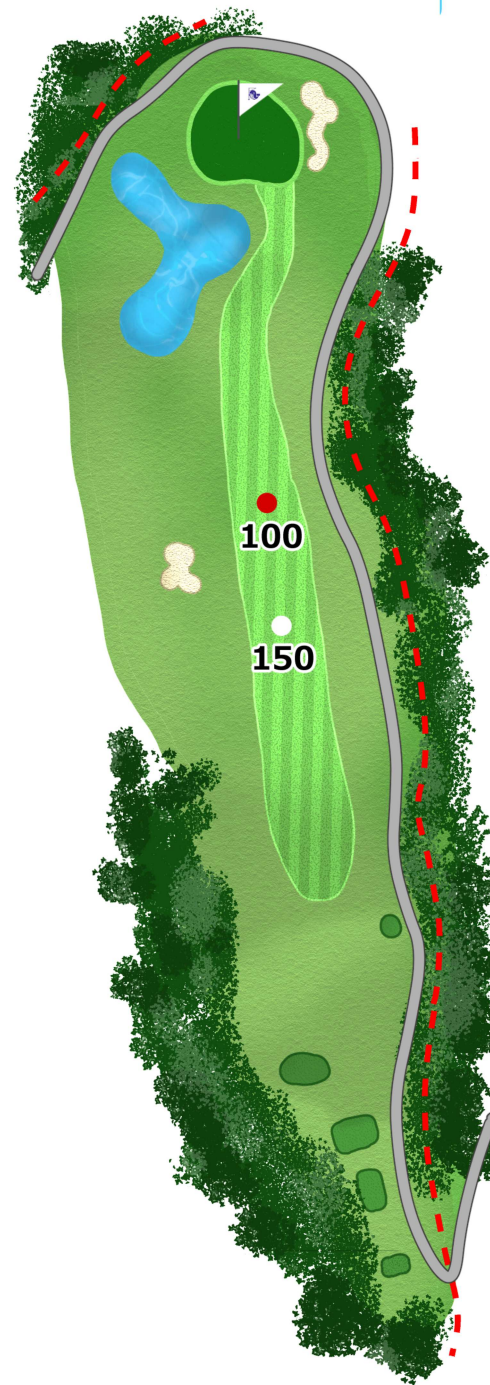
BT 410 RT 370 FT 340 LT 325

コース戦略

ストレートで打ち下ろしのミドルホール。残り90ヤード地点の左サイドに大きな池があり、レギュラーティーから260ヤードで入る可能性がある。また、左サイドのバンカーに入ると次打が池越えになるので避けておきたい。

グリーン

左手前から右奥にかけてグリーンを分断するように尾根がある。勾配が比較的急なのでカップのある面に乗せたい。



暖流コース 8H

PAR 4 HDCP 5

BT 400 RT 370 FT 340 LT 310

コース戦略

ティーグラウンドに立つと、右のバンカーが目に入り、カミが生じやすいがレギュラーティーから200ヤードで越える。右にOBが出やすいホールなので強振してOBになる事だけは避けたい。次打は打ち上げになるので、1クラブ大きめのクラブで攻めたい。

グリーン

全体的にフラットに見えるグリーンだが奥から下っている為、ピンより奥から打つパッティングは距離感を合わせづらい。



暖流コース 9H

PAR 5 HDCP 4

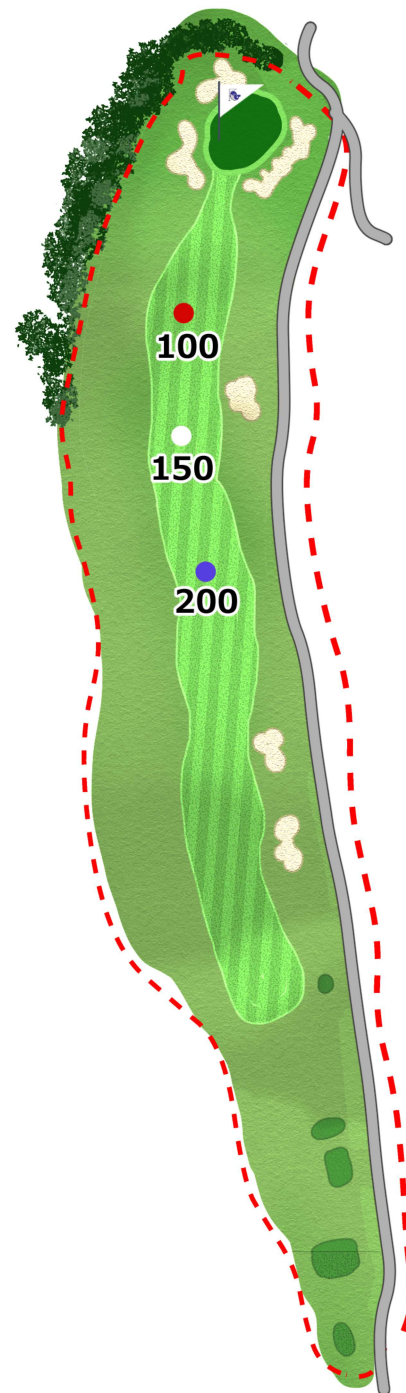
BT 565 RT 530 FT 495 LT 470

コース戦略

このホールは全体的に左サイドが受けており、「左から左から」を心がけていれば大怪我はしにくいだろう。右サイドはカート道より右はOBになる可能性が高いので要注意。ピンを右サイドに切っているときは、右手前のバンカーはきいており、距離感を合わせづらい。

グリーン

グリーンを左右に分断する尾根がセンターラインにあり、ピンサイドに乗せておきたい。



太平洋コース 1H

PAR 5 HDCP 8

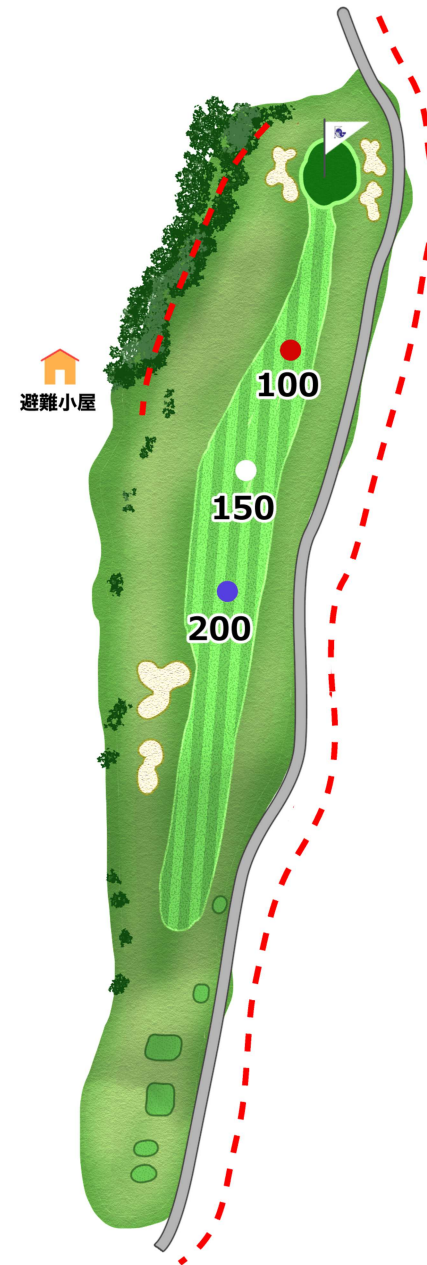
BT 570 RT 530 FT 495 LT 460

コース戦略

ティーグラウンドからグリーンまでストレートのロングホール。見通しが良く、プレッシャーは受けにくいですが、左サイドの2つ目のバンカーは土手が高く、入るとショートアイアンでのレイアップをお薦めする。風が吹き抜けるホールなので、風に乗せるか低く打つか決めて攻めたい。

グリーン

奥行きが36ヤードある受けグリーン。左奥にマウンドがありピンが左サイドにあるときは手前から攻めたい。



太平洋コース 2H

PAR 3 HDCP 6

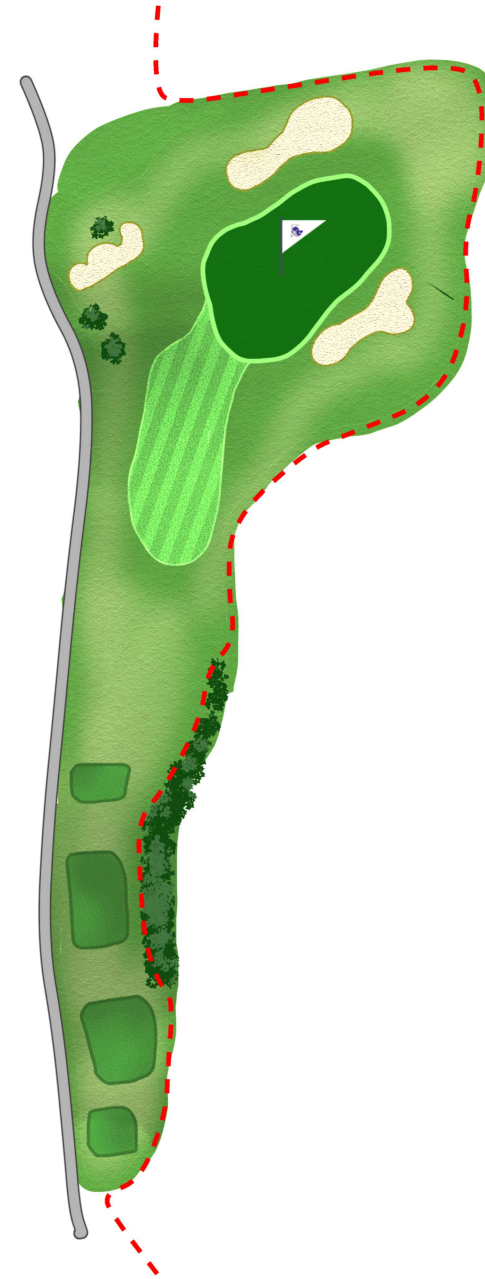
BT 205 RT 185 FT 155 LT 125

コース戦略

少し打ち下ろしのショートホール。グリーンは二段になっていて、右の上段にピンがあるときは乗せるだけでも難しい。グリーン奥のバンカーからは下りになっており、技術が試される。

グリーン

センター付近から三日月形に二段になっている。左の下段は受けており、手前から攻めると攻略しやすい。右の上段は傾斜は少なく全体的に曲がりはない。



太平洋コース 3H

PAR 4 HDCP 3

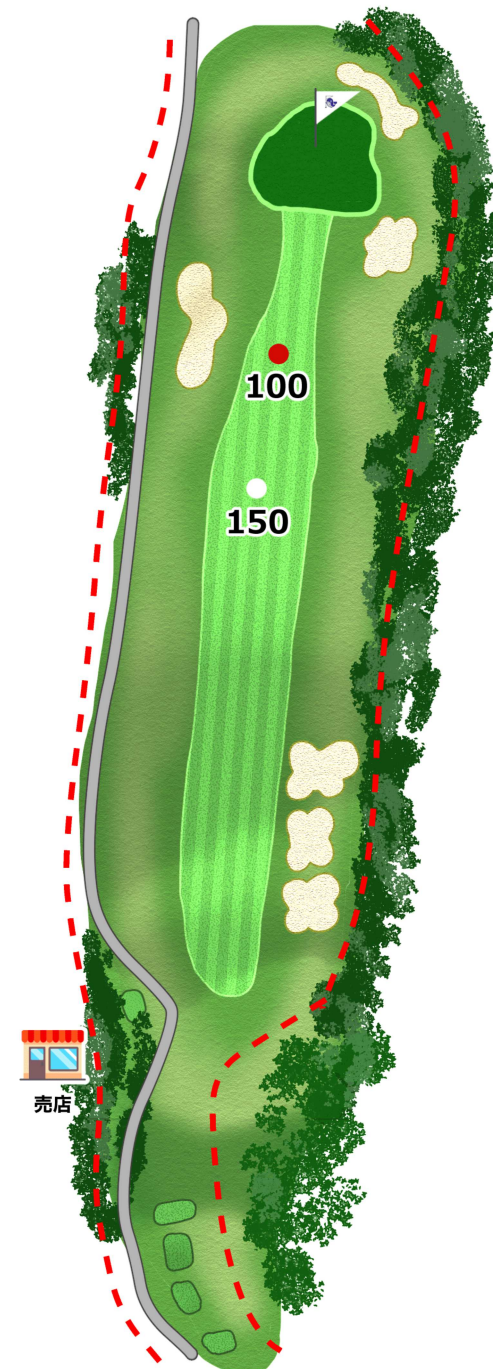
BT 440 RT 415 FT 385 LT 260

コース戦略

右サイドに三連バンカーがあるため、ティーショットにプレッシャーがかかるミドルホール。左サイドにコントロールショットが望ましい。第2打地点はフラットだがグリーン面が見えないので距離を合わせづらい。

グリーン

手前が下っているためボールが止まりにくい。左サイドには手前から奥に向かって尾根があり、傾斜がかかるラインは非常に読みにくいのでグリーンセンターから攻めたい。



太平洋コース 4 H

PAR 4 HDCP 7

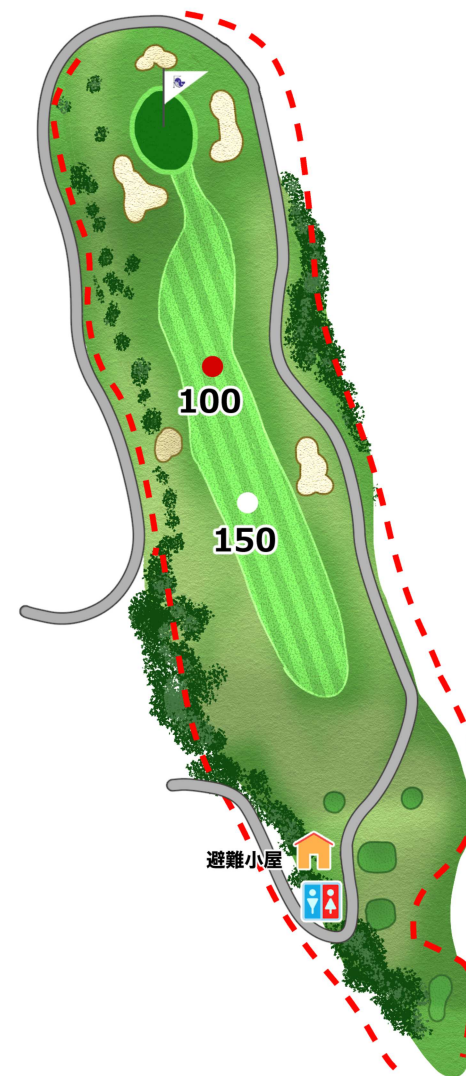
BT 420 RT 360 FT 325 LT 310

コース戦略

太平洋を一望できるミドルホール。最も海に近く、美しい景色だが風の影響を受けるホールでもある。しかし、あまり距離はなくティーグラウンドからグリーンまでなだらかに下っているため低いボールが効果的である。

グリーン

全体的に左から右へと傾斜しているが見た目では感じにくい、ピンより右サイドに乗せておきたい。



太平洋コース 5H

PAR 3 HDCP 9

BT 175 RT 160 FT 140 LT 115

コース戦略

ティーグラウンド前の大きな池とバンカーが視界に入るが距離が短いのでグリーンセンターを狙っていけばパーは取りやすい。ただティーグラウンドでは風を感じにくく、高い球を打つと風に落とされやすいので注意。

グリーン

全体的に受けグリーンで右サイドは手前から奥へ尾根がある。ピンより奥からのラインは読みにくく、距離を合わせることに徹したい。



太平洋コース 6H

PAR 4 HDCP 2

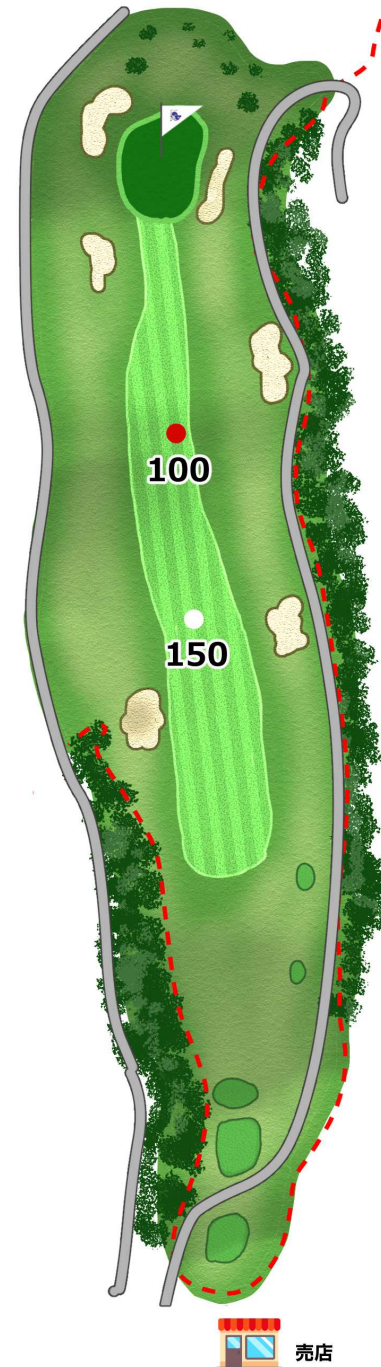
BT 395 RT 370 FT 340 LT 310

コース戦略

やや打ち上げのミドルホール。第1打目はフェアウェイが左から右へ傾斜しているので、左サイドのバンカーの右を狙っていきたい。第2打目がつま先下がり（レフティーはつま先上がり）になり右へ飛びやすくグリーン右のバンカーに入れないよう注意して欲しい。

グリーン

大きな傾斜はないように見えるが奥から手前へ全体的に下っている。カップに対して左右のラインは見た目以上に曲がる。



太平洋コース 7H

PAR 4 HDCP 4

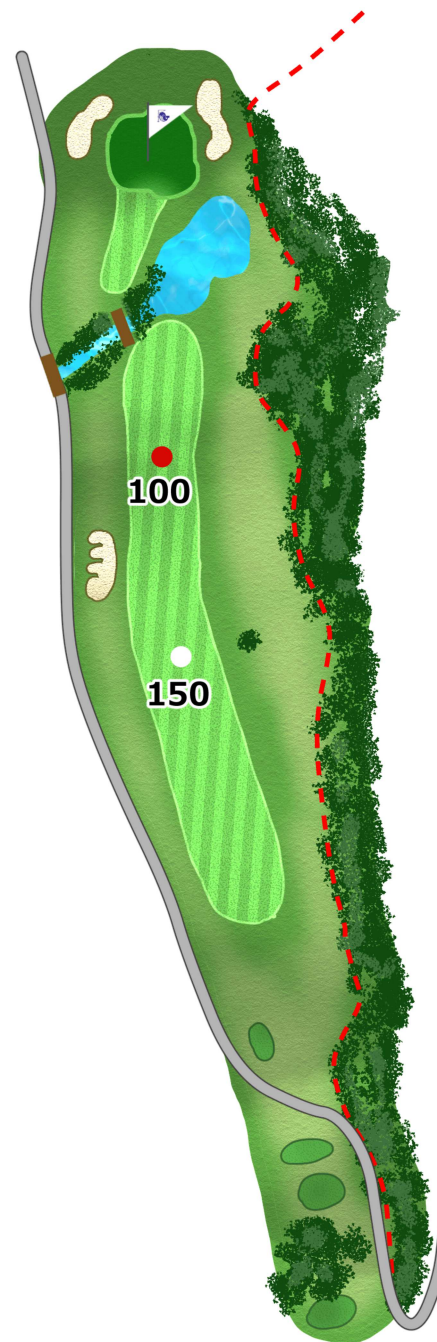
BT 470 RT 405 FT 385 LT 340

コース戦略

数々のトラップがあり、プレーヤーの技術やマネージメントが必要となるミドルホール。フェアウェイが右から左へ傾斜しているため、第1打はフェアウェイの右サイド狙い。右の斜面にボールが止まった場合は、池の手前へレイアップした方が無難。グリーンはボールが止めにくく、奥へこぼれやすい。グリーン左手前からアプローチ勝負という選択肢も良いかもしれない。

グリーン

ボールが止まりにくく、手前から奥へのアプローチやパッティングは注意が必要。左右、奥にマウンドがあり、それらを繋げるように小さな尾根がある。



太平洋コース 8H

PAR 4 HDCP 1

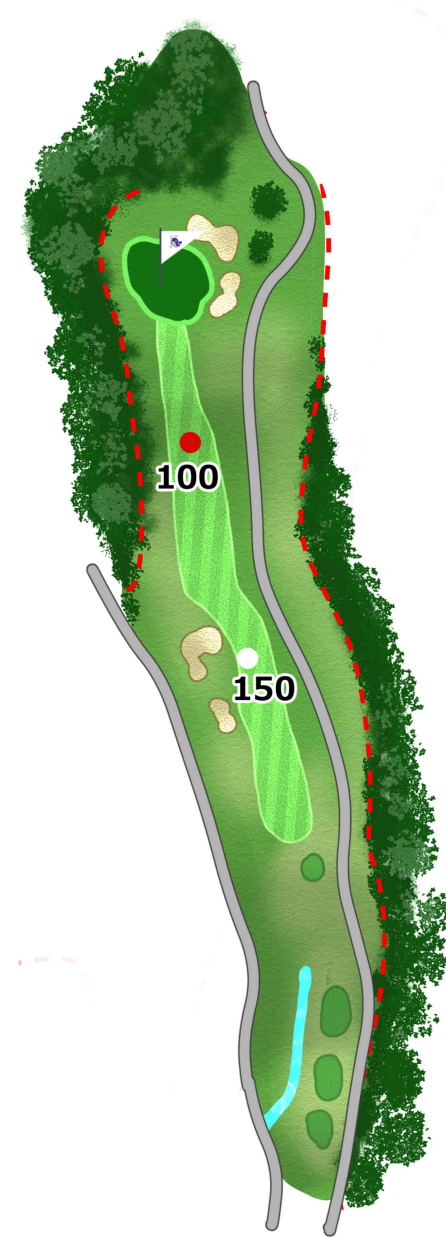
BT 420 RT 385 FT 350 LT 290

コース戦略

ティーショットのねらい目は左サイドのバンカーの右側。左サイドの二連バンカーは絶対に避けておきたい。2打目以降はかなり打ち上げになり、距離のジャッジが難しい。

グリーン

左奥から右手前へ全体的に傾斜がある。ピンより奥につけると距離も合わせづらく、ラインも複雑なので手前から攻めたい。



太平洋コース 9H

PAR 5 HDCP 5

BT 530 RT 490 FT 455 LT 400

コース戦略

ストレートのロングホールでロングヒッターなら2オンも可能なホール。しかしティーショットで左サイド2つ目のバンカーに入れると土手が高くレイアップを余儀なくされる。3打目勝負を挑まれるプレーヤーも残り50ヤード地点にある左サイドのバンカーだけは避けたい。

グリーン

グリーンセンターラインに手前から奥まで左右に二分するかの様に尾根がある。ピンサイドに乗せなければ1パットは難しい。



黒潮アウトコース 1 H

PAR 4 HDCP 17

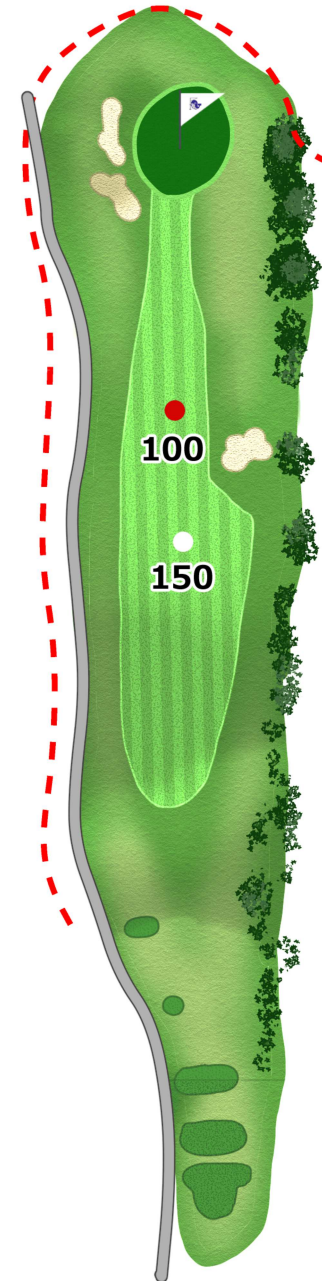
BT 400 RT 375 FT 355 LT 325

コース戦略

太平洋を眼下に望みながら広々としてロケーションのミドルホール。第1打目は右サイドのバンカーを避け、穏やかにスタートしたい。残り100ヤード付近からグリーンまでダウンヒルとなっている為、フルスイングよりコントロールショットでグリーンオンを目指したい。

グリーン

手前から奥へ全体的に受けグリーン。形状は卵型で目立って大きな傾斜はない。ピンより手前から攻めたい。



黒潮アウトコース 2H

PAR 3 HDCP 9

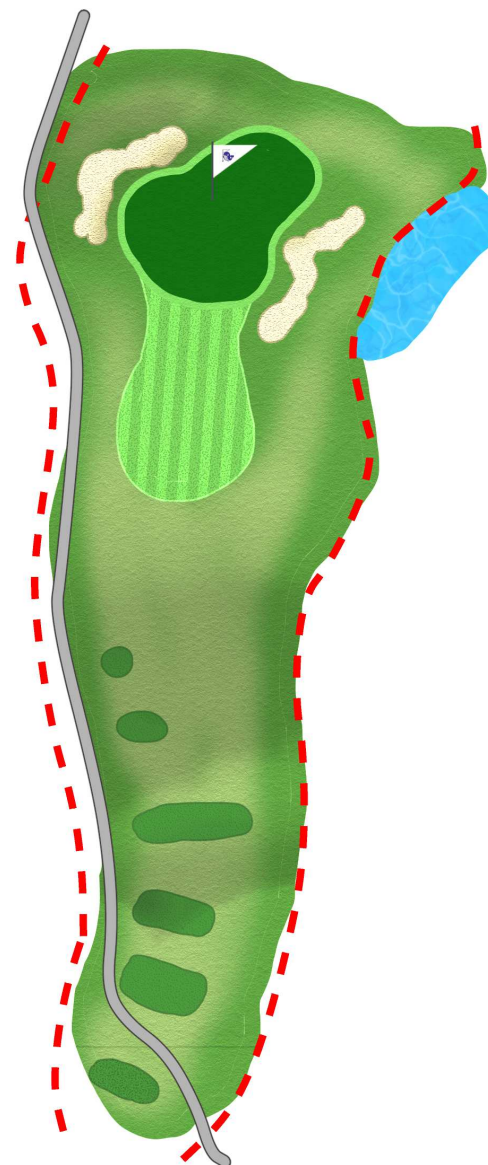
BT 225 RT 180 FT 160 LT 135

コース戦略

打ち下ろしているが距離のあるショートホール。それ以上に特徴的なことは大きな尾根によって、右手前、右奥、左と3つの面に分かれたグリーンである。打ち下ろしということもあり、風の影響を受けやすく、プレーヤーの技術を試される難所のホールである。

グリーン

グリーンを分断するかのように、グリーンセンターから0時、3時、7時の方向に尾根がある。それらを跨ぐパッティングは慎重に距離感を合わせたい。



黒潮アウトコース 3H

PAR 4 HDCP 5

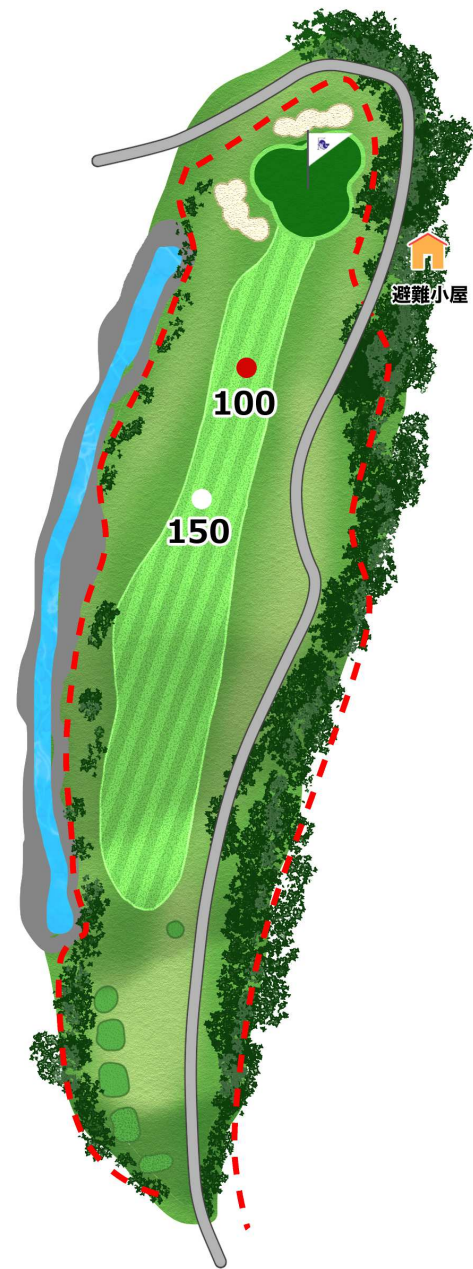
BT 435 RT 390 FT 375 LT 335

コース戦略

打ち上げで距離もあり、カミを誘うミドルホールだが、ラフに入れるとロングアイアンの使用が難しくなり、無理をすると大叩きに繋がりがねない。フェアウェイキープを心掛け、グリーンセンターを狙っていけば最良の結果に結びつくかもしれない。グリーンは変則二段グリーン。

グリーン

センターから右手前が下の段になっている変則二段グリーン。ピンが左の上段や右の上段に切っている時は無理をせずセンター狙いでいきたい。



黒潮アウトコース 4H

PAR 4 HDCP 13

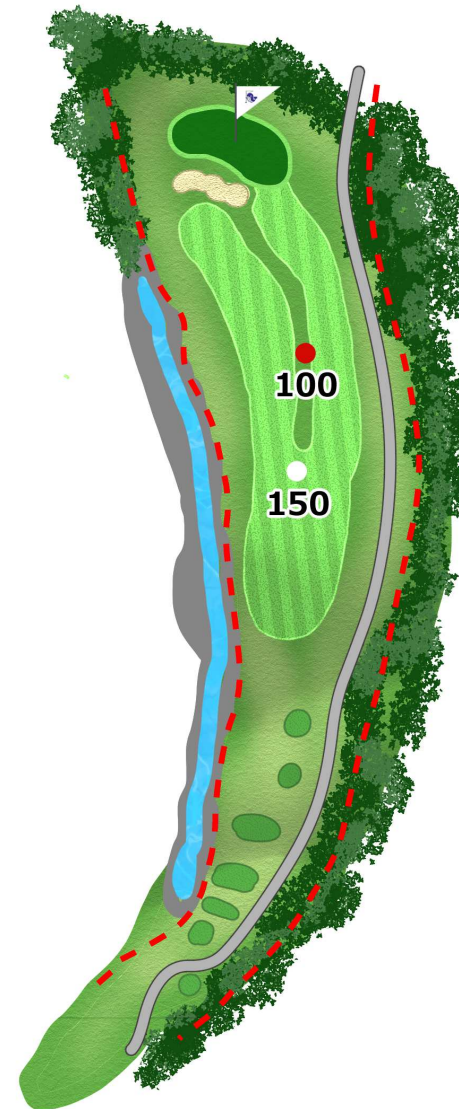
BT 390 RT 350 FT 340 LT 295

コース戦略

フェアウェイセンターに左右二分割するようにラフがあるミドルホール。狙い目は右サイド。飛ばし過ぎると突き抜ける可能性があるのでロングヒッターは残り100ヤードを残すクラブで第1打を打つとプレッシャーは少ない。左サイドに打つとグリーンまでの距離は短くなるが、グリーン面が見えない上に、バンカー越えになる為、ボールを止める技術が必要となる。

グリーン

縦幅が短く、右の面は受けているがセンターから左の面は奥へ下っている為、ボールは止まりにくい。



黒潮アウトコース 5H

PAR 5 HDCP 11

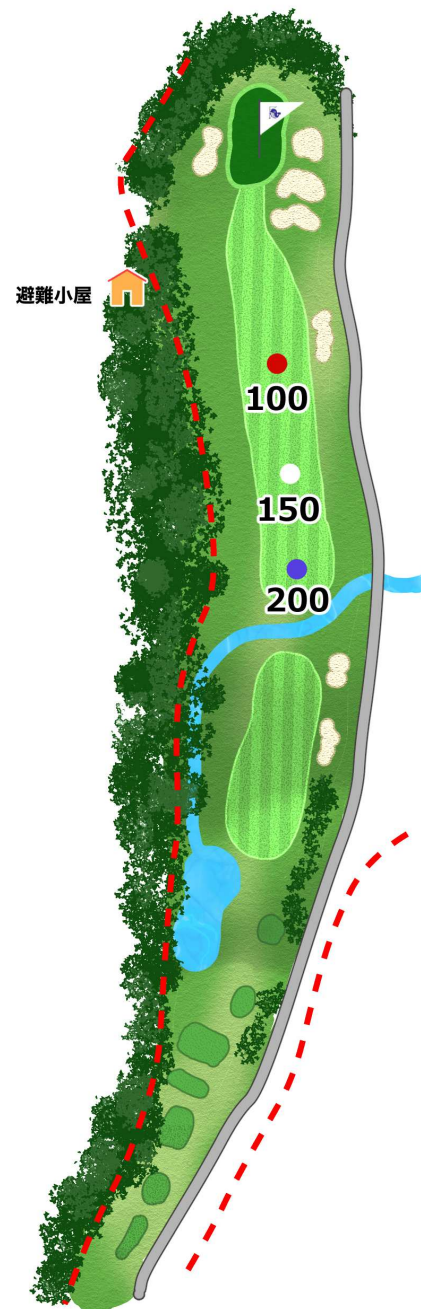
BT 570 RT 505 FT 490 LT 420

コース戦略

ティーグラウンドから見えないがコースを分断するようにクリークがある。R.Tから250ヤードで入るため、よほどのロングヒッターでなければクリークの手前から第2打を打つだろう。クリークの幅は8ヤード。第2打目は左右に広いがグリーンが三段グリーンになっており、第3打目は正確な距離感を求められるのでフェアウェイに置いておきたい。

グリーン

縦幅38ヤードの三段グリーン。ピンのある面に止めればチャンスだが高度な技術とメンタルが試される。欲を出して奥の段に乗せたり、奥へ打ち抜くことは避けたい。



黒潮アウトコース 6H

PAR 3 HDCP 15

BT 200 RT 165 FT 150 LT 130

コース戦略

グリーンに乗らなければバンカーという印象のショートホール。視覚的な恐怖に負けずに打っていけるかが鍵。左サイドの岩場が風を遮りジャッジを悩ませるがNo5ホールの風向きを思い出して判断してもらいたい。

グリーン

左手前と左奥にマウンドがある。全体的に左奥から右手前へと傾斜していて、ピンより奥へ乗せると距離感を合わせるのが難しい。



黒潮アウトコース 7H

PAR 5 HDCP 7

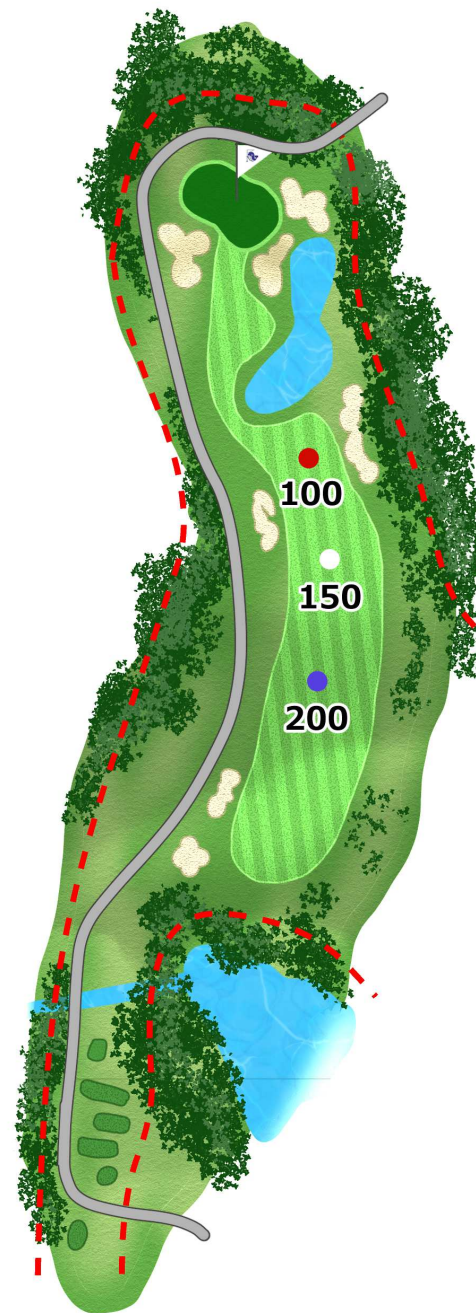
BT 560 RT 495 FT 480 LT 395

コース戦略

ティーグラウンドに立つと広々としたフェアウェイが視野に入り、いつも以上に力が入りやすいロングホール。フェアウェイ左サイドが狙い目だがラフまでいくと2打目が林越えになり2オンが難しくなる。グリーン手前に大きな池があり、レイアップの場合はエッジまで残り100ヤードの距離を目安に打ってもらいたい。グリーンは奥行きが43ヤードあり、大きなアンジュレーションがあるのでピンポジションを踏まえた第3打のクラブ選択を慎重に。

グリーン

右手前と左奥に大きなマウンドがあり、それらを避けるポジションを狙いたい。見た目以上に手前から奥へ受けていて、奥からのパッティングは距離感が合わせづらい。ピンポジションが左奥の場合は奥からアプローチの選択も頭に入れながら攻める必要がある。



黒潮アウトコース 8H

PAR 4 HDCP 3

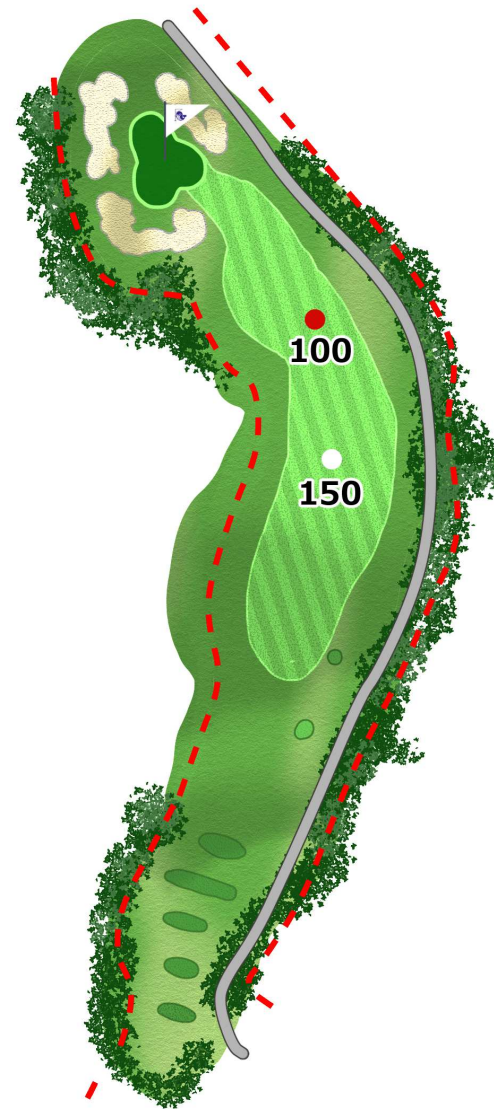
BT 415 RT 380 FT 360 LT 265

コース戦略

左ドッグレッグのミドルホールでフェアウェイの左サイドを狙っていきたいが、視覚的に谷のプレッシャーがあり、いかに恐怖心を克服できるのかが鍵となる。第2打地点からグリーンを見た時に、左の森が目に入り、アドレスで右を向きやすいので注意してほしい。グリーン周りもバンカーに囲まれており、どのバンカーに入れても難易度が高いので、花道からのアプローチがスコアメイクしやすい。

グリーン

センターから左手前が窪んでいて、上の段との高低差が1メートル40センチある名物グリーン。下段から上段に打ち上げるパッティングで距離感を合わせるのは至難の業である。



黒潮アウトコース 9H

PAR 4 HDCP 1

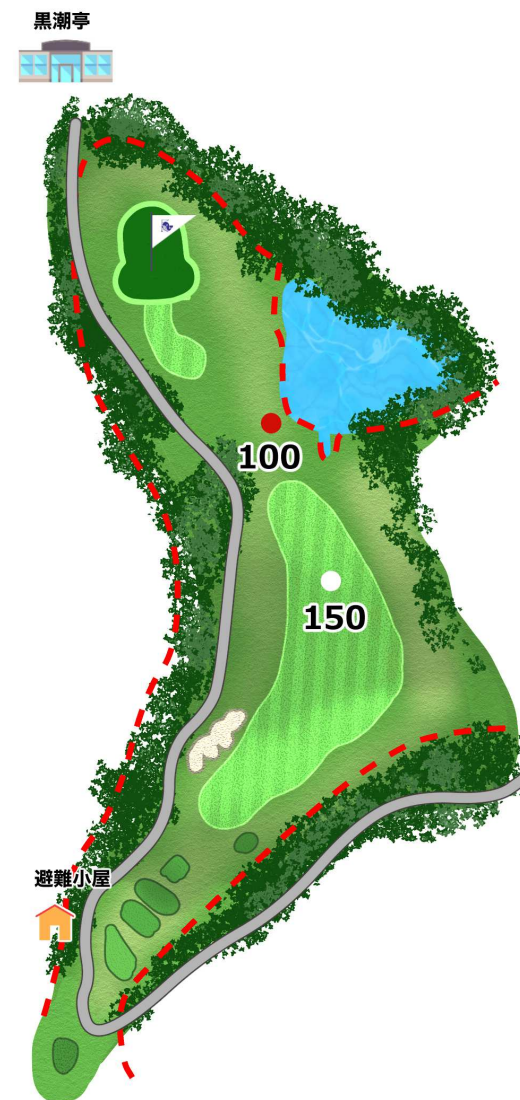
BT 455 RT 390 FT 375 LT 340

コース戦略

左へ大きくドッグレッグしているミドルホール。第1打目はホールに1本だけある細いヤシの木狙い。R.Tから230～240ヤードの地点がベストポジション。コース右の池はセカンド地点から見えない為、距離が残った場合、池の手前へレイアップという選択肢も。その場合、エッジまで120ヤードを残すクラブで。グリーンは複雑なアンジュレーションがあり、手前から攻めていくのがベター。

グリーン

グリーンセンターから左へ延びる尾根および右奥からセンター方向に大きな尾根がある、ピンより奥からのラインは非常に読みにくい。



黒潮インコース 10H

PAR 5 HDCP 10

BT 540 RT 495 FT 475 LT 425

コース戦略

ティーグラウンドからセカンド地点まで打ち下ろしでセカンド地点からグリーンまで打ち上げのロングホール。第1打目はフェアウェイが右から左へと傾斜がある為、右サイド狙い。バンカーに入れると次打が木とOB越えになる為、自信がない場合はフェアウェイに戻す事をお薦めする。2打目は左足下がり（レフティーは右足下がり）になり、強振よりミートを心掛けたい。3打目は打ち上げになり、風の読みが重要となる。

グリーン

グリーンセンター付近に三日月状に段差があり、右下段、左上段と二面に分かれている。右下段は手前から奥へ受けており、傾斜ははっきりしているが、左上段は大きな傾斜がない為、ラインは読みにくい。



黒潮インコース 11H

PAR 4 HDCP 8

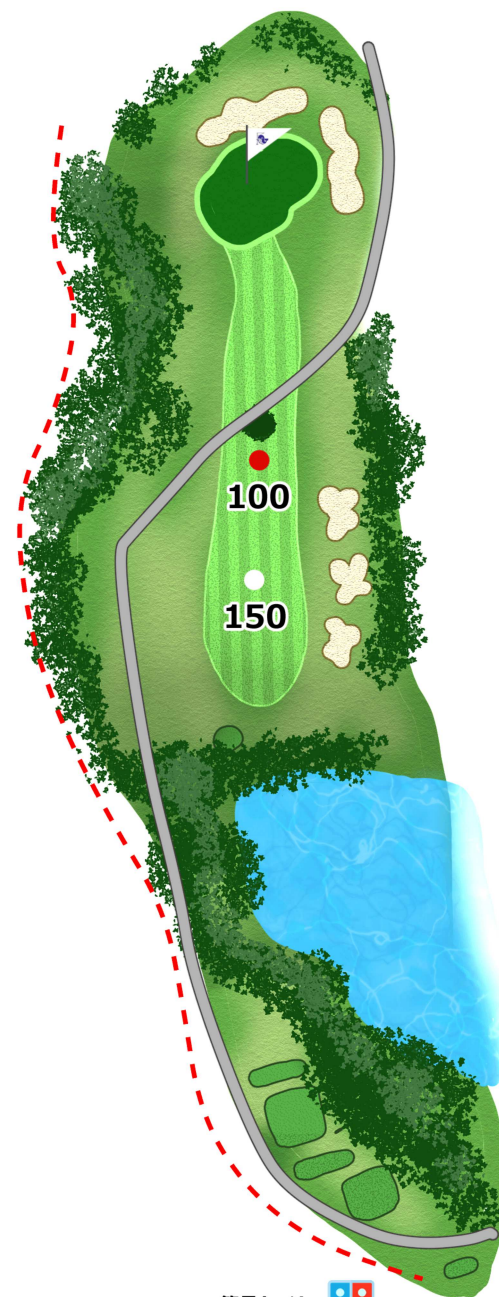
BT 385 RT 350 FT 335 LT 215

コース戦略

谷越えでプレッシャーを感じるミドルホールだが、距離がないのでミート重視でいけばクリア出来るだろう。2打目は打ち上げでグリーン面が見えない為、距離を合わせづらい。高いボールを打つと風の影響を受けやすいので、大きめのクラブでコントロールショットを心掛けてもらいたい。

グリーン

左手前からセンター奥まで尾根があり尾根の左にピンがある場合はピンより左にオンさせれば1パットのチャンスがある。



簡易トイレ



黒潮インコース 12H

PAR 3 HDCP 14

BT 190 RT 160 FT 140 LT 125

コース戦略

グリーン奥に大きな滝があるアイランドグリーンの名物ショートホール。美しい景色とは裏腹に風のジャッジが難解でプレーヤーを悩ませる。グリーン左手前にアプローチエリアがあるので自信がない場合はここに運んでアプローチ勝負に持ち込みたい。ピン位置にかかわらず、左サイドから攻めるのがこのホールのセオリーだろう。

グリーン

グリーンセンターやや左に手前から奥まで尾根がある。左サイドは手前が奥へ下っておりボールは止まりにくい。右サイドにはマウンドがあり、こちらにピンを切っている時はラインの読みに大きく影響する。



黒潮インコース 13H

PAR 4 HDCP 2

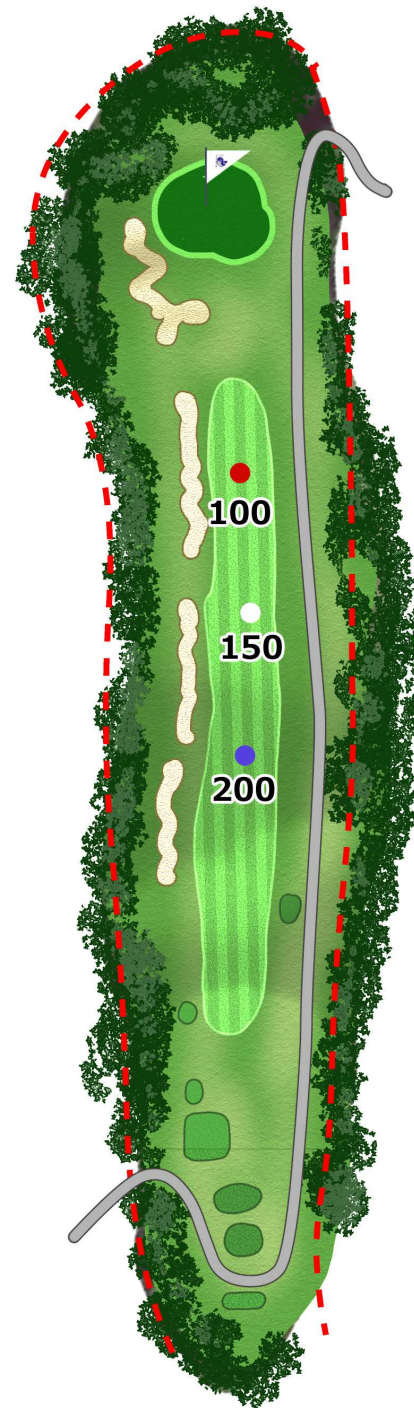
BT 445 RT 410 FT 385 LT 310

コース戦略

ストレートだがやや打ち上げで距離があるミドルホール。全体的に右から左へと傾斜があり球筋によっては、フェアウェイに落ちたボールがラフやバンカーに入ってしまうこともある。コース左サイドはグリーンまで連なるようにバンカーがあり、避ける為にも右サイドから攻めたい。グリーン左サイドのバンカーは土手が高く、脱出するのも容易ではない。アベレージゴルファーはパー5と考え、3オンで良いという気持ちで挑めば好結果の可能性が高くなるだろう。

グリーン

センター付近に手前から奥まで段差があり右が上段、左が下段という二段グリーン。グリーン右サイドに小さな尾根があり、アプローチの際、プレイヤーを悩ませる。



黒潮インコース 14H

PAR 4 HDCP 6

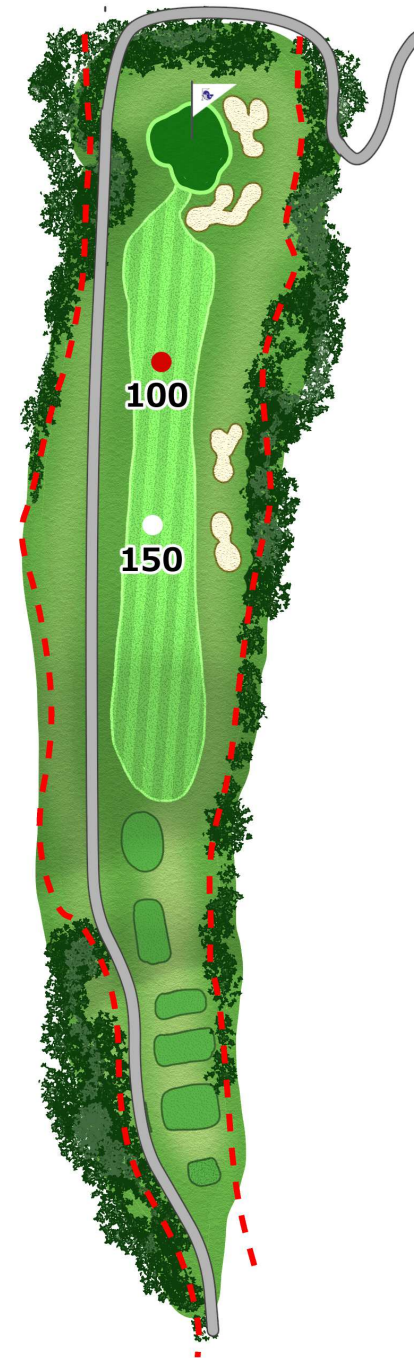
BT 435 RT 375 FT 350 LT 315

コース戦略

太平洋を望みながらティーショットが打てるミドルホール。コースが左から右へと傾斜している為、ティーショットは左の土手狙い。右サイドに打つとクスノキが次打に影響を及ぼす。2打目も傾斜からのショットを要求され、対応出来るかが鍵となる。グリーンもセンター付近まで下っており、ピンが手前に切っている場合は止まる球を打つ高い技術が必要となる。

グリーン

手前が下っていてボールは止まりにくい。左奥と中央奥にマウンドがある為、グリーンオーバーは避けたい。センター狙いがベスト。



黒潮インコース 15H

PAR 4 HDCP 12

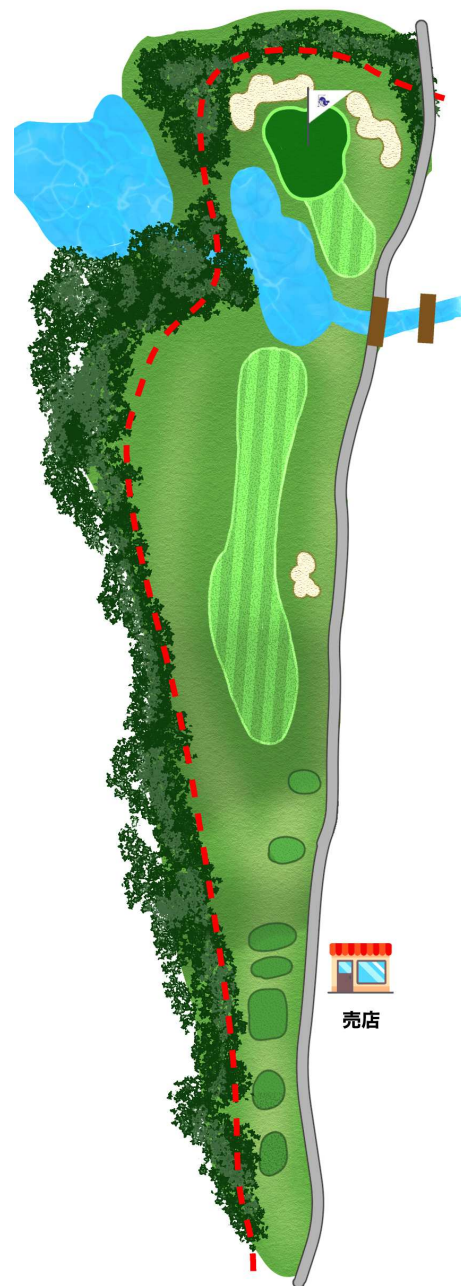
BT 445 RT 385 FT 360 LT 285

コース戦略

プレーヤーの技量が問われるミドルホール。R.Tから池まで280ヤード。残り120～130ヤード地点から、池方向へダウンスロープになっており、2打目が傾斜から池越えのショットを要求される。R.Tから230ヤードくらいで平らな場所に止めれるが、残り距離が140～150ヤード残る。ダウンスロープからのショットに自信がないプレーヤーは段の上から攻めるという手段が好手かもしれない。またグリーン右手前に広いアプローチエリアがあるのでここからアプローチ勝負も選択肢の一つ。

グリーン

右手前に扇状の下り傾斜があり、ボールのバウンドと転がりに大きく影響を与える。ボールが止まりにくいので、カップが奥に切っている時は攻めやすいが手前の時はロングパットより右からアプローチの方が攻めやすい。



黒潮インコース 16H

PAR 5 HDCP 4

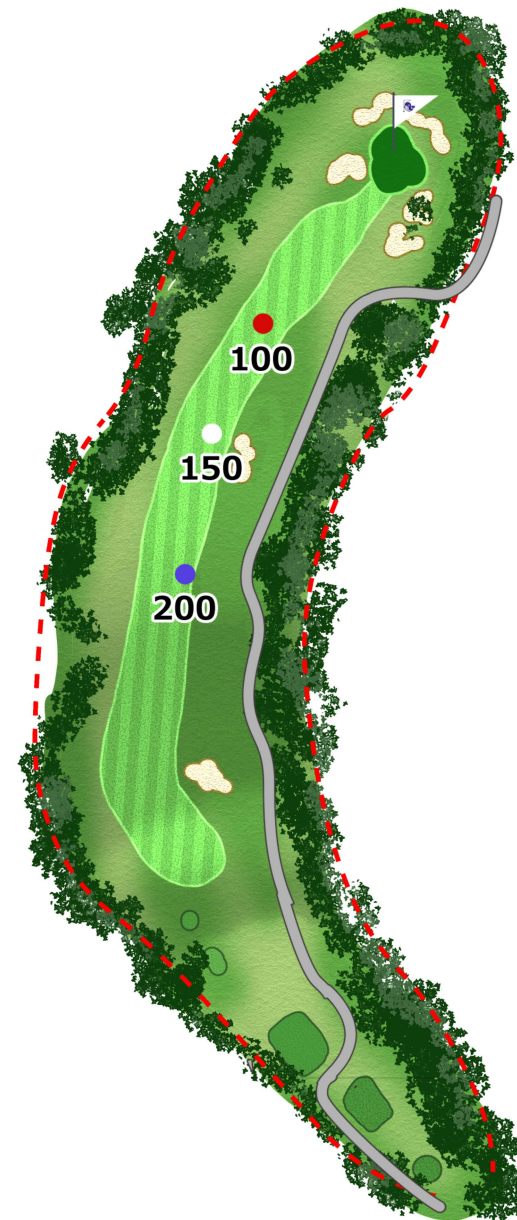
BT 620 RT 535 FT 525 LT 485

コース戦略

フルバックから620ヤードあり、2打目から打ち上げになっている為、ヤード表示より長く感じられる右ドッグレッグのロングホール。ティーショットは右サイドのバンカーを目安にロングヒッターは右サイド、アベレージヒッターは左サイド狙いで。距離があるので2打目に力みが生じやすいが次打の事を考えてフェアウェイキープを心掛けてほしい。3打目も見たい以上に打ち上げがあるので1クラブ大きめのクラブで攻めたい。

グリーン

全体的に左から右へ傾いており、ピンより左につけると厄介なので、右につけて上りのラインを残したい。



黒潮インコース 17H

PAR 3 HDCP 16

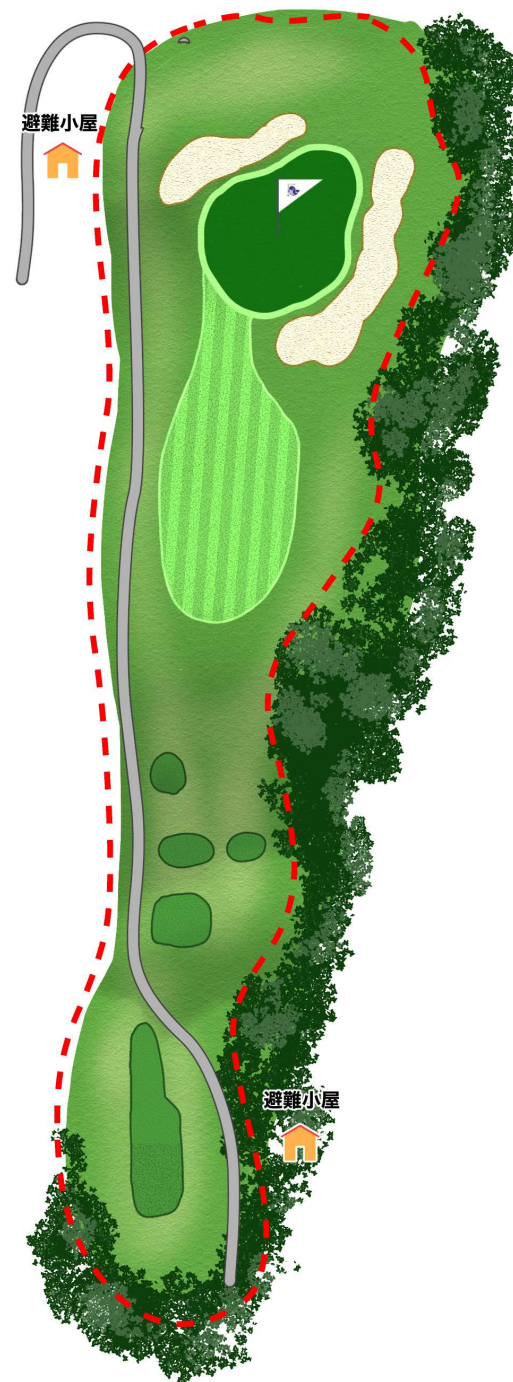
BT 225 RT 160 FT 145 LT 130

コース戦略

グリーン右の大きなバンカーが特徴のショートホール。このバンカーの土手は垂直に2メートルあり、近づくほど脱出が困難となる。バンカーに気を取られがちだが、グリーン上空は風が吹き抜ける為、ティーグラウンドで感じるよりも風の影響を受けやすいので注意が必要。ギャンブルを避けるのであればグリーン左サイド狙いが良い。左のラフからはグリーンが受けており、ライ次第では寄せワンが狙える可能性が高い。

グリーン

手前から奥へ下っており、フォローの時はボールが止まりにくい。センター奥に小さな尾根があり、それにラインがかかると見た目以上に転がり影響を受ける。



黒潮インコース 18H

PAR 4 HDCP 18

BT 380 RT 350 FT 325 LT 290

コース戦略

多くのバンカーが設置されており、プレーヤーの力量が試されるミドルホール。正面のバンカーまでR.Tから220ヤード越える為には240ヤード必要。バンカー手前からグリーンセンターまで残り130～140ヤード。やや打ち上げになっているので大きめのクラブでミート重視でグリーンオンを目指したい。

グリーン

グリーン四隅にマウンドがあり、それらにパッティングラインがかかると読みにくい。グリーンセンターから攻略したい。

